

## 米国産牛肉の輸入手続再開後の状況について

### 1 輸入動向

- (1) 本年7月27日の輸入手続再開以降、米国産牛肉の輸入量は、約3,000t(10月28日現在)となっており、これらの牛肉は、対日輸出認定施設(35施設)のうち、23施設から出荷されている。
- (2) 月別の輸入量については、8月 約140t、9月 約1,160t、10月 約1,700tとなっており、違反事例は確認されておらず、今後、更に増加が見込まれている。

【注】昨年12月12日から本年1月20日までの輸入量は約730t

### 2 未通関牛肉の取扱い

昨年12月12日から本年1月20日までの間に米国から輸出された未通関牛肉(約910t)については、本年7月27日の輸入手続再開後、3か月間の輸入数量(約3,000t)が既に1月の輸入手続停止前の輸入量(約730t)を大幅に超えているが、違反事案は確認されていないことを踏まえ、10月27日より、輸入業者による全箱確認等の輸入手続を開始した。